

**市長任期3年目
政策公約評価書**

令和6年10月1日

八戸市総合計画等推進市民委員会

< 目 次 >

I 評価書の作成に当たって	1
1. はじめに	1
2. 政策公約の概要	2
3. 評価の方法	8
II 市長任期3年目の政策公約取組状況に関する評価	9
1. 総括評価	9
2. 44の重点施策の個別評価及び意見	11
III 参 考	39
1. 八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿	39
2. 審議経過	39

I 評価書の作成に当たって

1. はじめに

令和3年に就任した熊谷雄一市長は、人口減少と少子高齢化の進行、デジタル化の進展、環境問題への対応等、地方が大きな変化の時代を迎え、更には、コロナ禍という極めて難しい局面での市政の舵取りが求められる中、八戸の未来を切り開くため、「さらなる元気な八戸に！」のメッセージのもと、4年間の任期で重点的に取り組む9項目にわたる政策と44の重点施策で構成する政策公約を掲げている。

その公約の実現にあたっては、市民との対話を重視し、市政に対する理解と共感を得ながら、市民と共にまちづくりを進めていくとの特徴的な方針を示している。

本委員会では、毎年度市長の政策公約の取組状況の実績や成果を調査・審議し、総合的かつ定性的な評価を行うことで、市民に公約の達成状況を分かりやすく提示するとともに、政策公約が着実に推進されるよう、市の次年度予算の編成前に、評価書として市長に提出することとしている。

過去2年の評価では、コロナ禍という厳しい状況下での市政運営ながら1年目は全ての重点施策に着手されているとし、2年目においては各政策とも達成に向けた取組が着実に進められていると評価したところである。

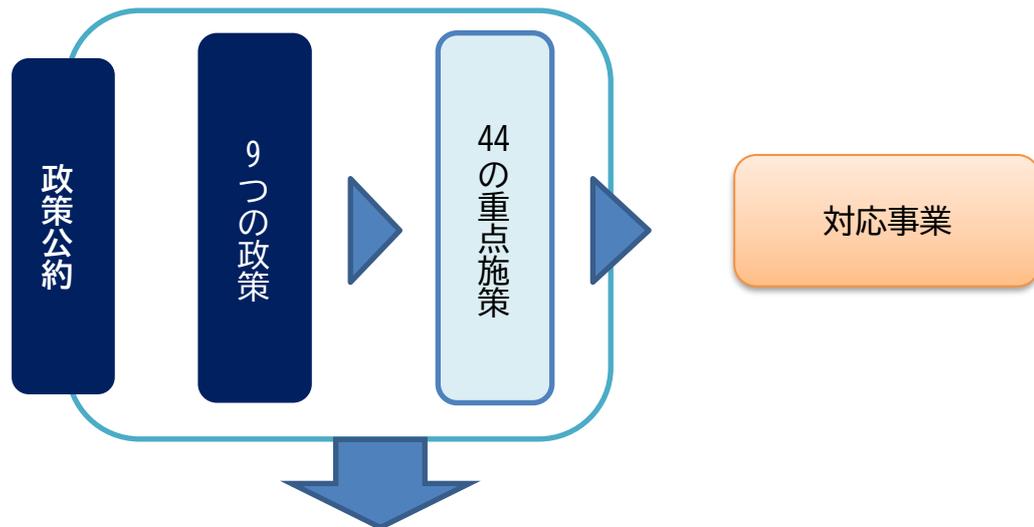
3年目においても市では、政策公約の更なる推進に向け、44の重点施策に引き続き取り組まれており、市長任期3年目の評価となる今回は、公約対応事業全172事業の実績や成果を基に、その取組状況を調査・審議し、総合的かつ定性的な評価を行ったところである。

本評価書を提出する令和6年10月は、市長任期を残すところ約1年という時期であり、このタイミングで本委員会が取りまとめた政策公約評価書を示すことで、市民の皆様の市政への関心がより一層高まり、八戸市勢の更なる発展と市民福祉の更なる向上に繋がることを期待する。

2. 政策公約の概要

政策公約は、市長が4年間の任期（令和3年11月～令和7年11月）において、重点的に取り組む施策を取りまとめたもので、9つの政策のもと、44の重点施策で示されており、市は、重点施策に掲げた内容の実現に向け、任期3年目は172（再掲含む）の対応事業に取り組んでいる。

（政策公約のイメージ図）



政策1	迅速かつ適切な新型コロナ対策	（7施策）
政策2	八戸圏域の特性を活かした経済活性化	（7施策）
政策3	持続可能なより良い社会の実現	（3施策）
政策4	スポーツ&文化で地域と経済の活性化	（4施策）
政策5	安心・安全な市民の暮らしを守る	（5施策）
政策6	「子どもファースト事業」の展開	（4施策）
政策7	多様な市民力を地域の活力に	（6施策）
政策8	暮らしやすく人に優しいまちづくり	（4施策）
政策9	経営感覚を持った行財政運営	（4施策）

◇政策及び重点施策の内容

政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策(7 施策)

感染症拡大を防止すると共に、日常生活と経済活動を取り戻します。

- 1 医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR 検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。
- 2 自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。
- 3 必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査(スクリーニング検査)を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。
- 4 新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。
- 5 新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル(心身の虚弱)などの健康二次被害の予防と対策に取り組みます。
- 6 感染症との共存(ウイズコロナ)時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。
- 7 新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。

政策 2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化(7 施策)

八戸圏域の農業・畜産・水産の連携を図るほか、産業都市八戸の経済効果を圏域に波及させていきます。

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。
- 2 水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。
- 3 「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。
- 4 デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。
- 5 経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。
- 6 地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。
- 7 次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。

政策 3 持続可能なより良い社会の実現(3施策)

SDGs への理解、環境問題やデジタル社会への対応を図り、持続的な発展を目指します。

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）に対する市民の理解と取り組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。
- 2 再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。
- 3 行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。

政策 4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化(4施策)

スポーツ・文化に関連する施設を連携し有効活用しながら活性化に繋がります。

- 1 スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「(仮称) スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。
- 2 八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。
- 3 「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。
- 4 中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。

政策 5 安心・安全な市民の暮らしを守る(5施策)

超高齢社会への対応、障がいのある方への日常生活支援、大規模災害への対応を図ります。

- 1 超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。
- 2 介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度(軽度者に対するサービス提供) の創設などに取り組みます。
- 3 医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。
- 4 障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。
- 5 多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

政策 6 「子どもファースト事業」の展開(4施策)

「子どもの未来は社会の未来」との考えのもと、子育て支援や教育の充実に努めます。

- 1 子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。
- 2 幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。
- 3 学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実に努め、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。
- 4 食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。

政策 7 多様な市民力を地域の活力に(6施策)

若者・女性の活躍、シニア世代のスキル活用など、多様な人材が活躍できる八戸を目指します。

- 1 高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組みます。
- 2 産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。
- 3 若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。
- 4 社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。
- 5 シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル) を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組みます。
- 6 地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいづくり活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。

政策 8 暮らしやすく人に優しいまちづくり(4施策)

それぞれの地域の特色を活かすと共に、身近な歩道の整備などに配慮したまちづくりを目指します。

- 1 地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。
- 2 市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。
- 3 空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。
- 4 市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称)市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。

政策 9 経営感覚を持った行財政運営(4 施策)

民間企業との交流の推進や、市長と市職員との率直な意見交換を通じ、行政組織を活性化させます。

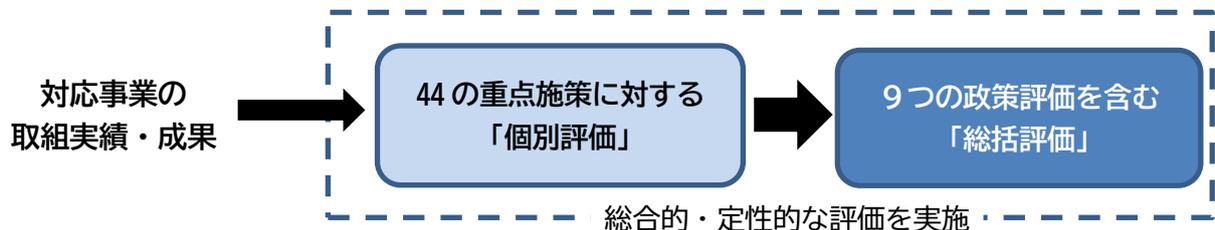
- 1 持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。
- 2 市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。
- 3 民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。
- 4 健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。
また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。

3. 評価の方法

政策公約の評価については、政策公約に対応する事業の進捗状況をもとに、社会情勢や市の現状等を加味し、総合的かつ定性的な評価とした。

評価の流れは、市が政策公約に対応する事業として位置付けている対応事業の取組実績や成果を基に、まずは44の重点施策ごとの「個別評価」を行い、その個別評価を基に9つの政策の評価を含めた公約全体の「総括評価」を行う手順とした。

評価の実施に際しては、政策公約（9つの政策及び44の重点施策）の「達成度」による評価を基本としつつ、その内容により短期間で達成可能なものから市長の任期である4年間で要するものまで一律ではないことから、評価時点で「達成できていない」と評価したものについては、さらに「進捗度」による評価を加えた二段階での評価とした。



(1) 「達成度」及び「進捗度」の評価区分

「達成度」の評価区分は、「達成できている」「一部達成できている」「達成できていない」の3区分とした。

さらに、「達成できていない」については、取組の「進捗度」による評価を行い、その評価区分は「順調に進んでいる」「あまり進んでいない」「未着手」の3区分とした。

達成度	達成できている	: 重点施策/政策の内容が達成できている
	一部達成できている	: 重点施策/政策の内容が一部達成できている
	達成できていない	: 重点施策/政策の内容が達成できていない
進捗度	順調に進んでいる	: 達成に向けて取組が順調に進んでいる
	あまり進んでいない	: 達成に向けて取組がなされているが想定通り進んでいない
	未着手	: 検討に着手していない

(2) 評価対象期間

令和5年8月から令和6年7月末まで

Ⅱ 市長任期3年目の政策公約取組状況に関する評価

1. 総括評価

市長任期3年目の全44の重点施策について、関連する公約対応事業の令和6年7月末までの取組状況を基に個別に評価した結果、達成度については「達成できている」が36施策、「一部達成できている」が8施策であり、「達成できていない」施策は0であった。

<44の重点施策の評価結果>

凡例:()内の数字は2年目の評価結果

政策	施策数	評価結果						
		達成 できている	一部達成 できている	達成 できていない				
					順調に 進んでいる	あまり進ん でいない	未着手	
政策1	7	7 (6)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策2	7	7 (2)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策3	3	1 (1)	2 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	
政策4	4	4 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策5	5	5 (3)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策6	4	2 (0)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策7	6	4 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	
政策8	4	3 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
政策9	4	3 (0)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	44	36 (17)	8 (25)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	

これら重点施策の個別評価の結果を9つの政策ごとに見ると、政策1、2、4、5については、「達成できている」と評価し、政策3、6、7、8、9については、「一部達成できている」と評価した。

当委員会としては、任期3年目の評価期間は、任期の折り返しを経過したことに加え、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、市民生活や地域における多くの活動が本格的に再開される中で、市の各施策においても取組が本格化したことによるものと判断している。

また、施策の評価においても各政策の達成に向けて、多くの重点施策を「達成できている」と評価したほか、2年目までに達成済みの重点施策についても、継続して事業の推進が図られていることから、「市長任期3年目の政策公約は約8割が達成されており、これまで着実に積み重ねてきた取組の成果が広く表れているとともに、全ての政策公約達成に向けて取組が加速度的に進められている」と評価を総括した。

<9つの政策及び全体の評価結果>

政策名	評価結果
政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策	達成できている
政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化	達成できている
政策3 持続可能なより良い社会の実現	一部達成できている
政策4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化	達成できている
政策5 安心・安全な市民の暮らしを守る	達成できている
政策6 「子どもファースト事業」の展開	一部達成できている
政策7 多様な市民力を地域の活力に	一部達成できている
政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり	一部達成できている
政策9 経営感覚を持った行財政運営	一部達成できている

各政策の中でも、「重点施策6-1 子どもや子育て世代にやさしい子どもファースト事業の推進」については、3年目においても対応事業数が大幅に増加しており、「子どもの未来は社会の未来」という政策公約の考えが一貫されている。

また、3年目に大きく進捗した施策として「水産業の振興」が挙げられる。これまでの「八戸水産アカデミー」の開催に加え、「つくり育てる漁業専門部会」の設置のほか、若手水産関係者の横のつながりの構築や養殖事業への新規参入者等への支援制度の開始など、水産都市八戸における新たな資源確保のための取組が本格的に進められている点も評価したい。今後は新たなブランド化を目指し、更に精力的な展開を期待する。

このほか、熊谷市長がスローガンとして掲げている「対話と共感」に基づき、1年目から展開されている市長との公民館サロン開催事業や八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業のほか、市長室ダイアログや八戸商工会議所青年部との意見交換会の実施等、対話を重視する取組の充実が図られている点は、熊谷カラーの施策が徐々に浸透している表れとして評価できる。

一方で、八戸水産アカデミーや子どもファーストをはじめとする市独自の取組や、当市ならではの特産品や観光資源などの市内外に誇れる分野については、その内容をわかりやすく発信し、市民のまちに対する愛着や理解を更に深めていく必要がある。

また、市が取り組んでいる施策のうち、他自治体に見劣りしない魅力的なものについても、発信方法を工夫する等更なる浸透を図る必要があるほか、施策の効果を高めるため、事業の検討段階において、対象となる業界や市民のニーズを的確に捉えた上での制度設計に努めていただきたい。

最後に、コロナ禍という難しい状況下での市政運営を経て、3年目において各取組の評価が大きく花開いたことから、「一部達成できている」政策においても、達成に向けて更なる取組の充実や達成への道筋を意識して事業展開していただき、任期最後の1年に向けて、全ての政策の達成を目指していただきたい。

2. 44の重点施策の個別評価及び意見

政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策		
1-1 医療提供体制の充実・強化		評価
医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊料用施設の確保に努めるとともに、クラスター発生時の保険所機能・PCR検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。		達成できている
評価理由	<p>県や医療機関と連携し、入院病床や宿泊療養施設が確保されたほか、「新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアル」の策定による保健所への職員派遣体制の整備などの保健所機能の強化、医療機関との連携によるPCR検査体制の強化、抗原検査キットの配布記者会見や市公式 SNS・市 HP を活用したわかりやすい情報提供などが実施された。</p> <p>なお、新型コロナウイルスワクチンの接種事業については、令和5年度末まで実施された。</p>	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・入院病床・宿泊療養施設確保事業 ・保健所機能強化事業 ・PCR等検査体制強化事業 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 ・市民へのフォローアップ推進事業 	
1-2 自宅療養者・宿泊療養者への適切な対応と保健所の体制整備		評価
自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。		達成できている
評価理由	<p>保健所からの電話連絡や食料支援等により、療養者への適切な対応が実施されたほか、人材バンクを活用した専門職員の確保による保健所の体制が整備された。</p>	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅療養者等対応強化事業 ・潜在保健師・看護師人材バンク活用事業 	

1-3 検査体制の強化		評価
<p>必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査（スクリーニング検査）を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。</p>		達成できている
評価理由	飲食店、教育・保育関係施設、高齢者施設、障がい者施設等に対し、検査キットが配布された。	
意見	-	
対応事業	・クラスター対策事業	
1-4 事業存続に向けた適切な支援と観光・飲食等の需要回復支援		評価
<p>新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。</p>		達成できている
評価理由	商業団体等による販売促進事業への助成やプレミアム食事券・プレミアム商品券・観光おもてなしクーポンの発行、飲食を伴うイベント等に対するマチニワ使用料の減免等により、事業存続に向けた支援や需要回復支援が実施された。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市商業団体等販売促進事業 ・八戸市プレミアム食事券事業 ・八戸市プレミアム商品券事業 ・八戸市観光おもてなしクーポン事業 ・マチニワイベント支援事業 	
1-5 高齢者フレイルなどの健康二次被害予防と対策の推進		評価
<p>新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策に取り組みます。</p>		達成できている
評価理由	令和5年度の高齢者等に対するバス特別乗車証無償交付により、新規取得者の掘り起こしが図られたことで、今までバスを利用しなかった層を含めた高齢者等の外出のきっかけ作りに繋がったほか、介護予防センターにおける相談支援や介護予防教室等が開催されており、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策が実施されている。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防センター運営事業 ・高齢者等バス特別乗車証無償化事業 	

1-6 市民生活へのフォロー体制の構築		評価
感染症との共存（ウイズコロナ）時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。		達成できている
評価理由	記者会見や市公式 SNS・市 HP を活用した情報発信により、市民へのフォロー体制が構築された。また、令和6年3月に「八戸市感染症予防計画」を策定し、感染症危機に対して、平時からの備えに重点を置いた事前対応型行政の構築や市民個人個人に対する感染症の予防及び治療に重点を置いた対策等、同計画に基づき、具体的な施策を講ずる体制が構築されている。	
意見	-	
対応事業	・市民へのフォローアップ推進事業（再掲）	
1-7 新たな「感染危機管理マニュアル」の策定		評価
新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。		達成できている
評価理由	令和3年12月に「新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアル」が策定された。	
意見	-	
対応事業	・保健所機能強化事業（再掲）	

政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化

2-1 「八戸市経済再生ビジョン」の策定		評価
ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。		達成できている
評価理由	令和5年度に経済再生のためのビジョンとして「中小企業・小規模企業振興ビジョン」が策定された。同年度以降毎年度、同ビジョンを実現するため、中小企業・小規模企業の振興に資する事業の取組が進められている。	
意見	-	
対応事業	・八戸市経済再生ビジョン策定事業	
2-2 「八戸水産アカデミー」の設置と「つくり育てる漁業」の推進		評価
水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。		達成できている
評価理由	<p>「八戸水産アカデミー」での検討に加え、同アカデミー内に新たに「つくり育てる漁業専門部会」が設置され、複数回のセミナーや講演会が開催されている。</p> <p>さらに令和6年度には、若手水産関係者の横のつながりを構築して活動に取り組んでいるほか、養殖事業への新規参入者等への補助事業が開始されるなど、水産資源の確保のための幅広い取組が進められている。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖した水産物が新たなブランドになるよう期待したい。 ・八戸水産アカデミーの取組とその成果について、市民に対してわかりやすい情報発信をする必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業振興事業（八戸水産アカデミー運営事業） ・養殖業成長産業化支援事業 	

2-3 「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興	評価
<p>「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>八戸都市圏交流プラザ「8base」の運営や「VISIT はちのへ」への活動支援、地場産品を活用したイベント等への補助により、圏域の資源を有効活用した交流人口・関係人口増加の取組が実施されているほか、VISIT はちのへに対する「食のまち・八戸」関連事業を拡充し、更なる取組が進められている。</p> <p>また、八戸圏域宿泊者数はコロナ禍前の水準に回復しているほか、VISIT はちのへが集計している「はちのへエリア観光アンケート集計レポート」では、1人あたりの平均旅行消費額がコロナ禍前を上回っている。</p> <p>加えて、8baseの売上は開業以降、堅調に推移しているほか、ユートリー1階ショップの売上もコロナ禍前を上回っており、観光振興による圏域全体の経済の活性化に一定の成果が出ているところである。</p>
<p>意見</p>	<p>・コロナの影響を受けていた数字が回復しているため、引き続き積極的な取組を展開する必要がある。</p>
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズム推進事業 ・VISIT はちのへ活動支援事業 ・八戸都市圏交流プラザ運営事業 ・湊地区まちづくり事業 ・物産販売促進事業 ・農産物等販売促進事業

2-4 成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成	評価
<p>デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>トップセールスの実施や日ごろからの企業訪問の取組の結果、八戸北インター工業団地において成長産業分野の大規模工場が着工されるほか、ハイテクパークには、自動車・ヘルスケア産業の開発・設計拠点の事務所が開設し、成長産業分野や医療分野の企業をはじめ、複数社の企業誘致に結びついている。</p> <p>また、イノベーティブ産業に関する補助金をはじめとする成長ものづくり産業分野の事業育成に向けた支援制度が整い、企業誘致活動や事業の育成に取り組まれている。</p>
<p>意見</p>	<p>—</p>
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT 産業集積促進事業 ・ イノベーティブ産業集積促進事業 ・ 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業 ・ 企業誘致促進事業 ・ 中小企業特別保証制度保証料補助事業

2-5 産業インフラの充実と企業誘致		評価
経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。		達成できている
評価理由	<p>八戸港の利用促進に向けたポートセールス活動や奨励金の交付等による企業誘致の支援、港湾や道路などのハード整備に関しては、国や県に対する要望活動や事業費の一部負担に取り組まれているほか、令和6年6月に八戸北インター第2工業団地（第1工区）の分譲受付が開始されるなど、産業インフラの充実に向けた取組が進められている。</p> <p>また、北東北の物流機能を維持するため、八戸港の貿易振興と合わせて効果的な取組を進めるため、令和6年度の機構改革において貿易・物流対策グループを創設し、業務体制の強化が図られている。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流問題対策事業について、事業者等の現状を踏まえながら取組を進める必要がある。 ・ 物流業界の生産性向上の取組について、引き続き事業者支援を行う必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポートセールス事業 ・ 新産業団地整備・開発推進事業 ・ 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業（再掲） ・ 企業誘致促進事業（再掲） ・ 港湾整備促進事業 ・ 都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線整備促進事業 ・ 三陸沿岸道路利活用促進事業 ・ 物流問題対策事業 	
2-6 中小企業・小規模企業の振興条例の制定		評価
地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。		達成できている
評価理由	<p>「中小企業・小規模企業振興基本条例」が施行され、市民に向けた周知が行われている。また、令和4年度に設置した中小企業・小規模企業振興会議から毎年度、実施事業の取組状況に関する意見を聴取しており、その内容を次年度事業に反映させながら取組を進めている。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業 	

2-7 起業支援プラットフォームの構築と起業支援体制の拡充	評価
<p>次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>はちのへ創業・事業承継サポートセンターの運営による起業家への支援が実施されている。</p> <p>さらに、令和5年10月に起業支援プラットフォームが構築され、若者や女性をはじめとした起業家を支援するための体制がつくられ、定期的にワークショップやトークイベントなどのコミュニティ活動が行われている。</p>
<p>意見</p>	<p>—</p>
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業 ・新規会社設立補助事業

政策3 持続可能なより良い社会の実現

3-1 SDGs(持続可能な開発目標) に対する市民の理解と取組の推進		評価
SDGs(持続可能な開発目標) に対する市民の理解と取組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。		一部達成できている
評価理由	<p>一般企業や八戸青年会議所とSDGsの普及啓発に関する協定を締結し、一般企業を交えたSDGsに関する研修会などの取組が実施されている。</p> <p>また、市民向け及び中学校等にSDGsの普及や啓発に向けた講座の開催や情報発信が継続して実施されている。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 情報発信・啓発事業 	
3-2 グリーン・循環型社会の実現		評価
再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。		一部達成できている
評価理由	<p>脱炭素化への取組に係る市内検討会を立ち上げ、各団体との意見交換や環境出前講座を実施する等、意識啓発活動に関する取組が実施されている。</p> <p>また、グリーン・循環型社会の実現等に向けて、令和5年9月に第3次八戸市環境基本計画及び第2次八戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定したほか、脱炭素化への取組として宅配ボックス設置補助事業が実施されている。</p> <p>さらに令和6年度において、市民や事業者に対して、エネルギー費用の負担軽減や地球温暖化対策の取組促進のため、再エネ・省エネ設備導入促進事業が開始されたところである。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化推進事業 ・地球温暖化対策理解促進事業 ・再エネ・省エネ設備導入促進事業 ・八戸市宅配ボックス設置補助事業 	

3-3 デジタル推進室の設置	評価
<p>行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>令和4年度に「デジタル推進室」を新たに設置し、八戸市デジタル推進計画を策定した以降、デジタル化に関する職員向け研修会、市庁舎のフリーWi-Fiエリアの拡大や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入、八戸市統合スマートフォンアプリの開発、市役所における申請手続きの約40%をデジタル化し、「書かない・待たない・来ない」窓口サービスの提供を目的とした窓口業務改革など、室設置後も継続して様々な取組が進められている。</p>
<p>意見</p>	<p>・効率化等に向けた積極的な取組を進めるとともに、情報漏洩対策に関する取組についても引き続き行う必要がある。</p>
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のデジタル化体制強化事業 ・八戸市窓口業務改革事業

政策4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化

4-1 「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」の設置		評価
	<p>スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「(仮称) スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。</p>	達成できている
評価理由	<p>市の附属機関として「八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を設置し、スポーツ推進計画の外部評価が実施されている。</p> <p>また、協議会設置後もスポーツの実施状況に関するアンケート調査を実施するなど、継続して取組が進められている。</p> <p>さらに、同協議会に八戸市体育施設整備検討委員会の担当事務が追加され、事業内容の拡充が図られている。</p>	
意見	—	
対応事業	・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進事業	
4-2 八戸市体育館建て替え構想における多目的利用可能な施設の検討		評価
	<p>八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。</p>	達成できている
評価理由	<p>令和4年度に「八戸市体育館の建て替えに関する基本構想」が策定され、令和6年2月に基本計画が策定されたところである。基本計画においては、建て替えに関する基本的なコンセプトとして、非日常時はスポーツ施設としてだけでなく、各種コンベンションの開催等、多目的利用が可能な施設となるよう必要な機能が整備される内容となっている。</p>	
意見	—	
対応事業	・新体育館整備事業	

4-3 イベントや会議の誘致と八戸市の魅力発信		評価
「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。		達成できている
評価理由	<p>「VISIT はちのへ」によるイベント誘致の助成や首都圏における MICE 誘致商談会などへの参加により誘致が行われているほか、デジタルを活用したマーケティングやインターネット、SNS を活用した効果的な魅力発信が図られている。</p> <p>また、令和5年度には大きな経済波及効果が創出された全国都市問題会議やジュニアワールドカップスピードスケート競技大会及び世界ジュニアスピードスケート選手権大会が開催されたほか、今後も全国朝市サミットの開催や四大陸スピードスケート選手権大会が予定され、大きな経済波及効果が期待される場所である。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ VISIT はちのへ活動支援事業（再掲） ・ 全国都市問題会議開催事業 ・ 全国朝市サミット開催支援事業 ・ スピードスケート国際大会誘致事業 	

4-4 市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくり	評価
<p>中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>美術館や更上閣等で開催されているイベントでは、周辺店舗とのタイアップ企画や周辺公共施設と連携する企画が実施されているほか、市民目線での文化振興について、多様な主体が緩やかに連携・協働できるプラットフォームをつくる「はちのへアート広場」事業が実施されている。</p> <p>また、美術館ではコンセプトの浸透を図るため、広報はちのへ・HP等に加え、各イベント等での説明や市民とともにリーフレットの作成、SNSで発信するなど、積極的な周知活動を行っている。</p> <p>さらに、中心街関係者と共に、実証試験「みちニワ」を実施し、将来的なみちづくりの方向性である「八戸市中心街ストリートデザインビジョン」を策定したほか、複合的な民間再開発に対する支援など、中心市街地のエリアマネジメントに資する様々な取組が展開され、魅力ある中心市街地に向けた取組が幅広く行われている。</p>
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業関係者の枠を超えて、多くの市民が注目している分野であるため、引き続き積極的な周知活動を展開する必要がある。
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業と商業機能との連携事業 ・「はちのへアート広場」事業 ・中心街ストリートデザイン事業 ・十三日町・十六日町地区再整備支援事業

政策5 安心・安全な市民の暮らしを守る

5-1 デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現		評価
	<p>超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。</p>	達成できている
評価理由	<p>切れ目ない在宅医療と介護の連携体制の構築に向けて、デジタルシステムの活用が特に効果的な事業形態（居宅介護支援事業、訪問看護ステーション）において、ICTツール（mell+community）を活用している市内事業所が全体の7割を超えており、同ツールの普及が図られている。</p> <p>また、ツールの更なる活用促進に向けて、利用者数を増やすための研修会・事例検討会が実施されており、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められている。</p>	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護 ICT 連携推進事業 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 	
5-2 介護人材の確保		評価
	<p>介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度（軽度者に対するサービス提供）の創設などに取り組めます。</p>	達成できている
評価理由	<p>中高生への出前講座の開催等による介護人材確保・育成や、町内見守りネットワークによる町内会単位での支援体制の整備が継続して実施されているほか、資格取得を支援する取組や介護人材の確保・定着のための支援が実施されている。</p> <p>また、令和5年9月より、市独自のヘルパー制度として、従来の基準を緩和した訪問型サービス「うみねこヘルパー」が実施されている。</p>	
意見	—	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事理解促進事業 ・地域包括支援センター運営事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護の業務の革新・業務効率化事業 ・外国人介護人材受入施設等環境整備事業 ・介護支援専門員資格取得・定着支援事業 	

5-3 在宅医療の仕組みづくりと終末期医療体制の整備		評価
医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。		達成できている
評価理由	<p>医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりの一環として、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため ICT ツールが活用されている。</p> <p>また、終末期医療体制の整備として、看取りケアに関する研修会の開催や総合的ながん対策事業の取組が継続して実施されている。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護 ICT 連携推進事業（再掲） ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（再掲） ・地域包括支援センター運営事業（再掲） ・高齢者福祉に関する理解促進事業 ・総合的ながん対策事業 	
5-4 障がい者就労の理解促進と就業支援に係る相談機能の充実		評価
障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。		達成できている
評価理由	障がい者の就業定着等に向けた、事業者や市民を対象とした研修会の開催や、障がい児の保護者への就業相談支援が継続して実施されている。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労支援団体ネットワーク事業 ・障がい者就労サポーター養成事業 ・障がい者就業支援事業 	

5-5 防災・危機管理部門の強化		評価
<p>多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。</p>		達成できている
評価理由	<p>危機管理や災害対策に関する事務を一元的に所管する部署として、令和5年度に危機管理部を新設し、危機管理体制の確立と更なる防災力の向上が図られている。</p> <p>また、体制強化後も津波避難ハザードマップの改定や津波避難計画の改定など、防災・危機管理に関する幅広い取組が実施されている。</p>	
意見	-	
対応事業	・ 防災・危機管理体制強化事業	

政策6 「子どもファースト事業」の展開

6-1 子どもや子育て世代にやさしい子どもファースト事業の推進	評価
<p>子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>関連する事業が毎年度大幅に拡充されており、子育てを支援する取組として、子ども医療費助成の所得制限の撤廃や乳児期の健診費用の助成など、妊娠期から子育て期の切れ目のない寄り添い支援といった多彩で豊富な子育て支援を総合的に支援する事業に取り組まれている。</p> <p>また、まちの魅力創生ネットワーク会議からの提言を踏まえて「マチナカまるっと1日体験事業」を実施するなど、今年度からは子どもの体験支援に関する複数の取組を開始している。</p> <p>さらに八戸市視聴覚センター児童科学館において、プラネタリウム設備の全面改修を行うとともに、昨年度策定したリニューアル基本計画に基づき、現在展示物改修に向けた準備が進められている。</p> <p>加えて、こどもの国の大型複合遊具や小・中学校施設のエアコン設置などについても計画的に整備が進められており、子どもファースト事業については、ソフト・ハードの両面から幅広い取組が実施されている。</p>
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体に劣らない魅力的な施策があることを、一人でも多くの市民や移住を検討する人に届かせるため、積極的な発信を継続する必要がある。 ・広報はちのへについて、高齢者にとってはアプリの方が見やすいといった場合があるため、広報はちのへをきっかけにシニア世代のデジタルリテラシー向上の取組を進める必要がある。 ・市内小規模校での学校音楽鑑賞教室の開催（文化芸術推進事業）等について、保護者の負担を減らすため、事業の継続実施かつ拡充をする必要がある。 ・児童科学館について、展示品は傷みやすいため、リニューアル後においても修繕予算を確保する必要がある。 ・小・中学校整備事業について、子どもたちの心が晴々とした気持ちで学校に通えるように、コンクリート仕上げの校舎の壁を整備（塗装）する必要がある。

対応
事業

- ・子ども医療費助成事業
- ・病児保育ネット予約サービスの導入（病児・病後児保育事業）
- ・市政情報発信力の強化事業
- ・健康教育事業（母子）
- ・母子健康診査事業
- ・子ども家庭総合支援拠点事業
- ・八戸市次世代エール商品券発行事業
- ・軽・中程度障がい児保育事業
- ・医療的ケア児等総合支援事業
- ・医療的ケア児保育支援事業
- ・広域的体験学習支援事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・文化芸術推進事業
- ・小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業
- ・学校図書館支援事業
- ・児童科学館改修事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・送迎用車両安全装置導入支援事業
- ・小・中学校整備事業
- ・保育施設等整備事業
- ・こどもの国大型複合遊具設置事業
- ・子育て情報整備事業
- ・グリーン・ツーリズム推進事業（再掲）
- ・マチナカまるっと1日体験事業（4館連携）
- ・乳幼児木育等推進事業
- ・こどもの声を聴く機会創出事業
- ・赤ちゃんお出かけ応援事業
- ・こども誰でも通園制度試行的事業
- ・児童館・児童センターエアコン事業
- ・小児慢性特定疾病通院費助成事業
- ・新学校給食センター整備事業
- ・アートファーマープロジェクト
（建築ツアーガイド、美術館広報部、（仮称）ものづくり部）
- ・つどいの広場事業
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・親子交流支援事業
- ・ハイリスク妊産婦アクセス支援事業
- ・八戸市奨学金制度
- ・保育施設等物価高騰対策支援事業
- ・放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業
- ・母子生活支援施設物価高騰対策支援事業
- ・学校給食食材費等物価高騰対策支援事業

6-2 幼児保育の人材確保と研修体制及び小学校との接続カリキュラムの構築		評価
<p>幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>保育士資格取得支援等による保育人材の確保や幼児教育の質の向上のための教職員研修が実施されている。</p> <p>小学校との円滑な接続を図るカリキュラムの構築については、幼保小連携研修講座等のプログラム（カリキュラム）作成に向けた周知・啓発を行っており、各施設が自分たちの施設に合ったプログラムを作成しやすいよう、市では「幼保小の架け橋プログラム」を構築したところである。</p> <p>今後は、各施設に対して、作成したプログラムの運用について周知・啓発を展開することが予定されていることから、一部達成と判断した。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士修学資金貸付金事業について、保育士人材の地元定着を図るため、制度の見直しをする必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格等取得支援事業 ・保育士修学資金貸付金事業 ・幼保小連携推進事業 ・特別支援教育推進事業 ・教職員研修事業 	
6-3 未来の八戸を担う子どもたちの学びを支える		評価
<p>学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。</p>		達成できている
評価理由	<p>プログラミング教育等を充実させるため、市教育委員会から教育現場へ GIGA スクール構想に関連した指導・助言が実施されており、教育現場において、その効果が確認されているほか、児童生徒の PC 環境の更新について計画的に進めているところである。</p> <p>また、国際交流事業については、コロナ禍や社会情勢の影響により制約がある中、米国や中国の児童との対面やオンラインでの交流を通して国際交流の充実が図られている。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の活用について、教育のほか、顔が見える関係で地域との関わりを持たせる取組を実施する必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想推進事業 ・青少年海外派遣交流事業 ・国際理解教育・英語教育推進事業 ・教育の情報化推進事業 	

6-4 子ども食堂の支援		評価
食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。		一部達成できている
評価理由	<p>子育て家庭に食材等を配布する「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報、食材提供者と子ども食堂実施団体とのマッチング、子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便の実施団体への後援、物価高騰に伴う支援に加え、子ども食堂の関係団体を対象にアンケート調査が実施されている。</p> <p>今後の具体的な支援策については、関係団体との意見交換会の結果を踏まえ検討中であることから、一部達成と判断した。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂支援事業 ・こども食堂等物価高騰対策支援事業 	

政策7 多様な市民力を地域の活力に

7-1 若者・女性の移住促進		評価
<p>高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組みます。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>若者・女性を含む当市の関係者や関係人口に情報を届け、移住を促すため、卒業生向けのポストカードの配布による直接的なアプローチのほか、ふるさとメール便やふるさと情報アプリ、各種 SNS の運用などの積極的なメディアの活用が行われている。</p> <p>また、インターネット広告バナーや移住促進 PR 動画を制作し、リモートワーカー等向けの PR やイベント時に活用しているほか、移住相談会の参加、移住窓口の整備、移住・交流ポータルサイトの運営を行うなど、当市への移住促進に幅広く取り組まれている。</p>	
意見	<p>・市内外で培ったスキルや人脈を活かして、地元で活発に仕事をする若者が増え、その方々の体験が発信できるような取組をする必要がある。</p>	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・交流促進事業 ・シティプロモーション推進事業 	
7-2 大学生や高校生の地元定着の促進		評価
<p>産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>学生の地元定着を促進するため、産業界や教育界と連携して、事業所向けのセミナーの開催や小中学生及び高校生が地元企業に触れる機会創出の取組、企業の魅力を発信する取組が着実に実施されている。</p> <p>また、高校生による地元企業魅力体験事業では、高校側からの要望を受け、周知時期を変更したほか、学生の受入参加人数枠が拡充されたところである。</p> <p>八戸産学官連携推進事業では、地元の理解を深めるための八戸地域学が継続されているほか、地元企業が求める人材ニーズ調査が新たに予定されており、今後は同調査に基づき、産学官で連携した学生の地元定着に向けた取組が検討される予定となっていることから一部達成と判断した。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業ファンづくりプロジェクト事業で作成している冊子について、新しい仕事・分野の企業や、就労形態を含めた様々な働き方の仕事をしている企業を盛り込む必要がある。 ・「働き方」に対する考えが幅広くなってきており、学生の地元定着を図るため、多種多様な働き方があることを紹介できるような取組をする必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸産学官連携推進事業 ・地元企業ファンづくりプロジェクト事業 ・高校生による地元企業魅力発見体験事業 ・地域事業所人材獲得等支援事業 	

7-3 「まちの魅力創生ネットワーク会議」の設置		評価
若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。		達成できている
評価理由	市の附属機関として同会議を設置し、令和5年度に引き続き令和6年度も同会議からの提言を踏まえた具体的な事業化がなされている。 また、令和6年度も提言作成に向けて、継続して会議が開催されている。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で出された内容が実際に施策となる良い取組であるため、会議内容の発信の強化に取り組む必要がある。 ・市民活動団体をはじめとする各分野の活動とリンクさせて、提言の実現に取り組む必要がある。 	
対応事業	・八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業	
7-4 「(仮称) キャリア教育講座」の設置		評価
社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。		達成できている
評価理由	令和5年9月に社会人を対象としたキャリアアップを啓発するセミナーが開催され、参加者から満足度が高い評価が得られている。今年度も引き続きセミナーが開催されており、地域や企業に役立つ人材を育てる取組が継続して実施されている。	
意見	-	
対応事業	・キャリア教育推進事業	
7-5 シニア世代のキャリアを活かした中小企業への支援		評価
シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル)を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組めます。		達成できている
評価理由	八戸市無料職業紹介所等の運営により、シニア世代を含む求職者と求人企業とのマッチング支援の仕組みが構築されており、資格などのキャリアを持つシニア世代の人材(スキル)の登録が行われている。 また、シニア世代からの相談時には、外部団体であるシルバー人材センターやネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)を併せて紹介するなど、シニア世代の就業を幅広く支援する取組が実施されている。	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介事業 ・求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業 	

7-6 高齢者の生きがいづくり活動への支援と社会参加の促進	評価
<p>地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいづくり活動を支援するとともに、高齢者の社会参加の促進を図ります。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>ほっとサロンの開催及び老人クラブへの補助金交付等による生きがいづくり活動の支援や、鷗盟大学の運営及びシニアはつらつポイント事業による高齢者の社会参加の促進に関する取組が継続して実施されている。</p>
<p>意見</p>	<p>—</p>
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動支援事業 ・高齢者生きがいと健康づくり推進事業 ・鷗盟大学運営事業 ・シニアはつらつポイント事業

政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり

8-1 「コンパクト&ネットワーク」の街づくりと協働のまちづくりの推進		評価
地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。		達成できている
評価理由	<p>八戸市立地適正化計画が令和6年3月に改定され、同計画によるコンパクト&ネットワークのまちづくりとして、田向地区、八戸駅周辺地区、中心街地区への施設誘導が着実に進められているほか、公共交通計画に基づく取組や JR 八戸線の沿線自治体と連携した協議会の設立により、公共交通の維持に向けた取組が実施されている。</p> <p>また、連合町内会の基盤強化や地域負担軽減のための交付金が創設されたほか、協働のまちづくりに向けた市民及び市職員向けの研修会の開催など、市民とともにまちづくりを推進するための取組が実施されている。</p>	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市営バス運転手確保対策事業について、人材確保のため、民間事業者の動きや募集内容を注視しながら、事業に取り組む必要がある。 	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の底力」実践プロジェクト促進事業 ・協働のまちづくり研修会の開催事業 ・協働のまちづくり職員研修事業 ・「元気な八戸づくり」市民提案制度事業 ・「元気な八戸づくり」市民奨励金事業 ・八戸市立地適正化計画改定事業 ・売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画) ・民間路線バス運転手等確保維持補助金事業 ・市営バス運転手確保対策事業 ・八戸市連合町内会活動活性化交付金事業 ・路線バス事業継続支援事業 ・八戸圏域地域公共交通計画推進事業 ・JR 八戸線利活用事業 	

8-2 人に優しい街づくりの推進		評価
市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。		一部達成できている
評価理由	<p>八戸市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な公共施設の管理を進めている。また、市内の公園については利用者ニーズに沿った整備が進められており、比較的大きな公園の整備については残る1箇所の基本設計が実施されている。加えて、青森県無電柱化推進計画に基づき、計画的に無電柱化工事を進めているところである。</p> <p>歩道については日ごろから補修を行っていることから、人に優しいまちづくりに資する取組を進めているものの、市民にとって身近な通学路の補修工事が令和7年度までの3か年計画であることから一部達成と判断した。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化推進事業 ・新井田白銀線歩道整備事業 ・一番町矢沢線歩道整備事業 ・交通安全施設整備事業 ・通学路等区画線設置事業 ・公園施設長寿命化事業 ・市民で賑わう公園魅力向上事業 ・公共施設有効利用促進推進事業 ・公共施設長寿命化推進事業 	
8-3 空き家の適正管理と利活用の促進		評価
空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。		達成できている
評価理由	<p>空き家の管理に関する相談対応や広報はちのへへの啓発記事の掲載により、適正管理に係る取組が継続して実施されているとともに、空き家ポータルサイトの運営及びリフォームやリノベーションを対象とした補助金による利活用促進が図られている。今年度からはちのへ空き家解消ネットワークを運営し、さらなる空き家解消に向けた取組の強化が図られている。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等管理対策事業 ・空き家活用・住みかえ支援事業 	

8-4 「市長との公民館サロン」の開設	評価
<p>市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称) 市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。</p>	<p>達成できている</p>
<p>評価理由</p>	<p>「市長との公民館サロン」については、令和5年度までにすべての地区で開催されており、地域の現状や課題、市政状況等についての相互理解が図られたところである。</p> <p>これまでに取り上げられたテーマについては引き続き進捗管理が行われているとともに、令和6年度から「みんなで取り組む地域づくり」を共通テーマに市内38 連合町内会を対象とした公募により、年10 回程度開催される予定である。</p>
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動や取組を広く周知するため、動画としての見える化をする必要がある。 ・八戸市連合町内会活動活性化交付金と組み合わせることで、より多くの町内会が抱えている課題解決に向けた活動が展開されることを期待するとともに、交付金に関して市から町内会へのフォローアップの強化をする必要がある。
<p>対応事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長との公民館サロン開催事業

政策9 経営感覚を持った行財政運営

9-1 大型公共施設の有効利用による費用対効果の向上		評価
<p>持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。</p>		一部達成できている
評価理由	<p>はちのへ大型公共施設見える化シートの公開により、維持管理コストと財源の見通しが公開されたほか、公共施設の有効利用に向けた具体的取組を検討するため、市民アンケートの実施や各施設の個別施設計画の進捗管理がなされている。同アンケート結果を踏まえ、市民ニーズに沿った施設運営のほか、施設間連携や公民連携の視点も踏まえ整理した方向性に基づき、大型公共施設の有効利用に向けた取組を推進することで、費用対効果の向上や公共施設への理解の深化が図られている。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設有効利用促進事業（再掲） 	
9-2 行政改革と市民サービスの質の向上		評価
<p>市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。</p>		達成できている
評価理由	<p>市長と職員との意見交換の場として、新採用職員前期研修及び主査級職員研修事業のほか、市長と若手職員との意見交換の場として、市長室ダイアログの取組が実施されている。</p> <p>令和6年度は階層別研修の見直しや人材育成基本方針の改訂が予定され、さらなる組織の活性化による市民サービスの質の向上が期待される。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政組織活性化事業 	

9-3 民間企業との交流推進		評価
民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。		達成できている
評価理由	<p>民間企業が実施する研修や会議への参加のほか、株式会社まちづくり八戸、一般企業への市職員の派遣を通じて、経営感覚やスキルを学ぶ機会が創出されているほか、民間企業との交流として、商工会議所青年部東北ブロックや八戸商工会議所青年部との意見交換会が複数回開催されている。</p> <p>今後は更なる民間企業との交流の取組として、八戸商工会議所や同青年部との意見交換に関する取組が検討・準備されている。</p>	
意見	-	
対応事業	・ 民間企業との交流事業	
9-4 市民向けアプリ開発による市民満足度の向上と意見聴取による市政の改善		評価
健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。 また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。		達成できている
評価理由	<p>健康増進アプリ「健はちプラス」、子育て支援アプリ「はちも」が導入され、チラシによる周知が図られており、アプリを活用したアンケート調査も実施されたところである。</p> <p>今後はアンケート結果に基づき、新たに楽しめる機能追加の検討、イベント情報・子育て支援情報の配信、イベントのオンライン予約の充実など、アプリの利便性向上について取り組まれるところである。</p>	
意見	-	
対応事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業 ・ 子育て情報整備事業 	

Ⅲ 参 考

1. 八戸市総合計画等推進市民委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

役 職	氏 名	所属等
	小笠原 圭一	【第3回審議から】 八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会 事務局
	木村 順一	【第2回審議まで】 八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会 幹事
	柴田 紀志	八戸金融団 副会長
	高森 えりか	公募
	立 花 悟	NPO 法人青森県防災士会 副代表理事 八戸支部長
委 員 長	堤 静子	八戸学院大学 地域経営学部 特任教授
	田 頭 順子	八戸国際交流協会理事 (轟木保育園園長)
	中 村 一 明	連合青森三八地域協議会 議長
	松 橋 満 幸	八戸ホテル協議会 会長
	峯 敬子	八戸商工会議所 女性会 理事
副 委 員 長	宮 腰 直 幸	八戸工業大学 感性デザイン学部 教授

2. 審議経過

委員会	開催日	審議案件
第1回	令和6年5月16日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議①
第2回	令和6年6月27日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議②
第3回	令和6年7月18日(木)	・第7次八戸市総合計画の実施状況に関する審議③
第4回	令和6年8月22日(木)	・政策公約の取組状況の審議①
第5回	令和6年8月30日(金)	・政策公約の取組状況の審議②
第6回	令和6年9月19日(木)	・総合計画意見書及び政策公約評価書のとりまとめ